

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公開番号】特開2016-168123(P2016-168123A)

【公開日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-056

【出願番号】特願2015-48803(P2015-48803)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 0 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者が操作する携帯通信端末を介して、該遊技者の遊技に関する情報をサーバに送信可能な遊技機において、

遊技に際して行われる抽選に関する情報である遊技情報を蓄積記憶可能な遊技情報記憶手段と、

前記遊技情報記憶手段に蓄積記憶されている遊技情報を、携帯通信端末によって取得又は識別可能のように出力可能な情報出力手段と、

前記遊技情報記憶手段に遊技情報が記憶されることに対応する案内態様を導出可能な取り忘れ防止手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生させるか否かの当否抽選を行うとともに、当該当否抽選の結果に基づいて前記特別遊技状態を発生させる主制御手段と、

前記当否抽選の結果を教示するための識別情報の変動表示が行われる可変表示手段とを備え、

前記可変表示手段において識別情報の変動表示が行われている場合にも、前記案内態様としてのプレ案内態様が導出可能に構成されていることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記案内態様は、前記遊技情報記憶手段に記憶されている遊技情報に応じて態様変化することを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

遊技球を発射させる発射手段と、

遊技盤の前面側に設けられ、前記発射手段により発射された遊技球が案内される遊技領域と、

遊技機に併設される球貸し装置に対して電気的に接続される球貸し操作手段、及び、返却操作手段とを備える遊技機において、

前記返却操作手段の操作が行われた場合には、遊技者が所有している遊技価値としての遊技球の数に対応する値を記憶する携帯式の遊技価値記憶媒体が球貸し装置から返却され

、前記球貸し操作手段の操作が行われた場合には、球貸し装置に挿入された遊技価値記憶媒体の記憶内容の範囲内で所定数の遊技球が遊技者に払い出される構成において、

遊技機に併設されている球貸し装置に挿入されている遊技価値記憶媒体の記憶内容を把握可能な残高把握手段と、

遊技機に併設されている球貸し装置において、規定数以上の遊技球の数に対応する値が記憶されている遊技価値記憶媒体が挿入されていることに対応する案内態様を導出可能な取り忘れ防止手段とを備え、

遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生させるか否かの当否抽選を行うとともに、当該当否抽選の結果に基づいて前記特別遊技状態を発生させる主制御手段と、

前記当否抽選の結果を教示するための識別情報の変動表示が行われる可変表示手段とを備え、

前記可変表示手段において識別情報の変動表示が行われている場合にも、前記案内態様としてのプレ案内態様が導出可能に構成されていることを特徴とする遊技機。

**【請求項 5】**

前記可変表示手段において識別情報の変動表示が行われていない場合に導出される前記案内態様と、行われている場合に導出される前記プレ案内態様とでは、態様が異なることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の遊技機。

**【請求項 6】**

遊技者による特定の操作の検知に対応付けされたポイント、及び、遊技状態に対応付けられたポイントを加減算し、合計のポイントが規定値を超えることで、前記案内態様が導出されることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の遊技機。